

# ホース収納式 シングルレバーシャワー混合水栓

SF-71SY型

## 施工前の前に

### 安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」よくお読みのうえ正しく施工してください。
- いざれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に動作することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそつて使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

### 用語および記号の説明

- 注意** … 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
- △** … 「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
- … 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
- !** … 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

### 施工前のご注意

- 注意** … 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

- △** … 「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

- … 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

### 施工前のお問い合わせの場合は給水圧力

#### 最低必要圧力

0.05MPa(流動圧)

#### 最高圧力

0.75MPa(静水圧)

### 施工前の注意

#### その他の条件

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20~0.39MPa)に調節してください。
- 給湯器に蒸気は使用できません。
- 不意の出湯によるヤケド防止のため、給湯器の設定温度は60℃以下をおすすめします。

#### 施工前の注意

#### 取付けに必要な工具

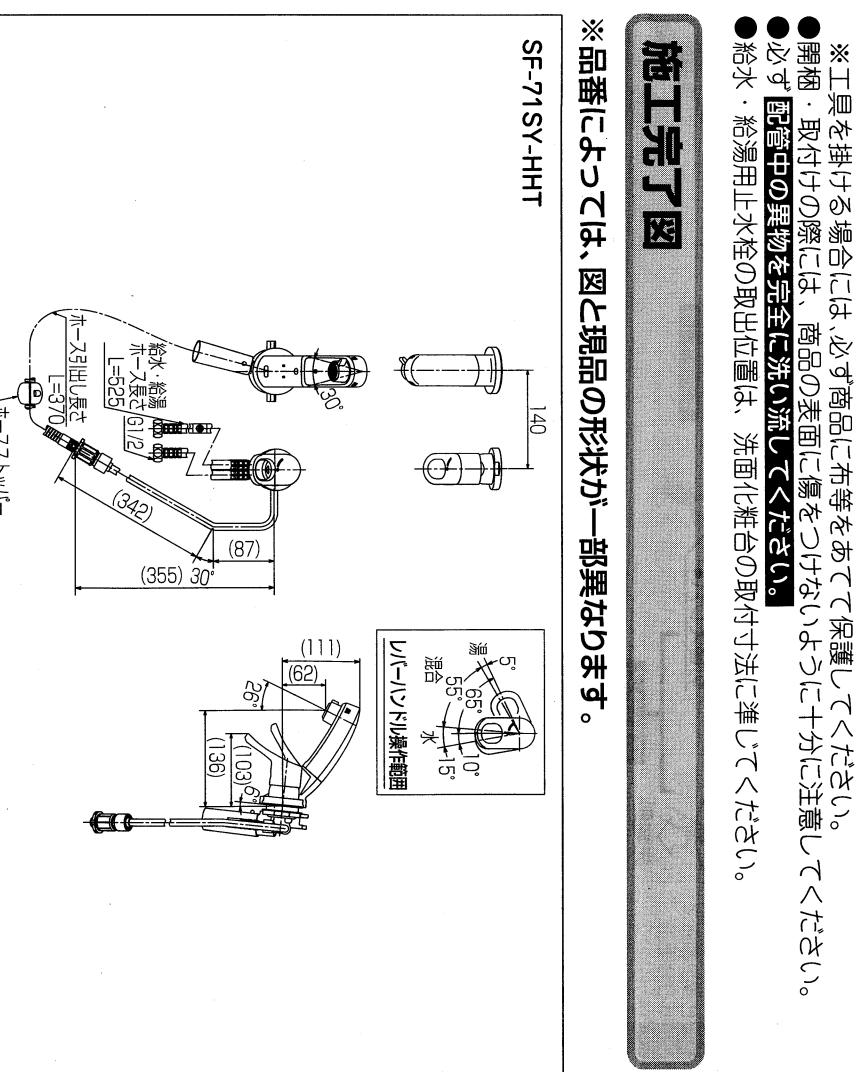
- 取付けにはプラスドライバー、マイナスドライバー、スパナ(内刃23)、モーターレンチ、プライヤーが必要です。
- 止水栓と点検口を設けてください。
- 取付後の流量調節及び保守点検のために流量調節をしてください。特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

#### 止水栓と点検口を設けてください。

- 止水栓と点検口を設けてください。
- 修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。
- 修理技術者では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管は右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
- 商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
- 工具をかける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。
- 給水・給湯用止水栓の取出位置は、洗面化粧台の取付寸法に準じてください。

#### 施工完了図

※品番によつては、図と現品の形状が一部異なります。



### 洗面化粧台の取付け(全体の取付手順)

給湯器設定温度	85°C以下	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)
使用環境温度	【一般地用】 0~40°C		但し、内部の水を凍結させないでください。
給水・給湯接続	G1/2		
圧力条件	0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)	給水圧力	※給水・給湯圧力

※1：飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。

※2：給水圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。

### ガス給湯器(比例式制御式：16号相当)と組み合わせる場合の給水圧力

最低必要圧力 A+0.08MPa(流動圧)※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

最高圧力 0.75MPa(静水圧)

測定条件は次の通りです。

●レバーハンドルは全開です。

●給水温度5°C、吐出温度42°C(ガス給湯器との組み合わせが最も悪い冬期を想定)

●給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

●ガス給湯器の設定温度は最高温度です。

株式会社 ハウステック ●商品のお問い合わせ(お客様相談窓口)

フリーダイヤル TEL 0120-80-1761 (携帯・PHS対応)

受付時間 9:00~12:00  
(土・日・祝祭日、年末年始・夏期休暇日を除く)

工事店様へのお願い  
貴店名ならびに掲示引渡し日を記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお伝えください。  
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

## 2. 施工方法

## 2 吐水口の取付け

水栓本体の取り付け

**注意**  
銅管が洗面化粧台と干渉しないように  
してください。

**注意** 銅管が洗面化粧台と干渉しないようにして下さい。

● パッキンのはみ出しに注意してください。

2. シャワーホースの先端をシャワーホースガイドに通す。

ドに通す。

A diagram showing a horizontal line with a vertical line extending downwards from its right side. A bracket is positioned above the horizontal line, spanning the width of the vertical line. The label "水栓本体" is placed to the left of the bracket.

カウンター左側に吐出管と給水・給湯ホースを入れ、本体を回転させながら取付穴に挿入する。

カウンター左側に吐出管と給水・給湯ホースを入れ、本体を回転させながら取付穴に挿入する。

A technical diagram showing a cross-section of a bearing assembly. It features two parallel vertical lines representing shafts or housings. A horizontal line with a central circular hole represents a bearing. A lock washer is shown positioned between the bearing and one of the shafts. A lock nut is attached to the shaft, secured by the lock washer, to prevent the bearing from rotating.

A diagram showing a threaded rod being inserted into a threaded sleeve. The rod has a hexagonal head and a threaded section. The sleeve is a cylindrical component with internal threads. A spring is shown coiled around the rod near the head.

The diagram illustrates the assembly of a faucet. A main horizontal pipe, labeled '水栓本体' (faucet body), is shown with a vertical copper pipe, labeled '銅管' (copper tube), attached to its side. The faucet body has several mounting holes. A dashed horizontal line extends from the top of the faucet body, labeled '床固に水平' (level with the floor), indicating the correct installation height.

- 取付後、吐水口が回転しないこと。

3. 取付ナットを締め、水栓本体を固定する。

●取付ナットを締める時、ボウルを工具で傷つけないようにしてください。  
※破損の原因となります。

2. シャワーホースの保護キャップを外し  
ホースと接続する。

一般地用

カブラー式ソケット  
プライヤー

卷之三

レバーハンドルをハンドル本体凸部に取り付け、レバーハンドル下側からハンドル固定ねじで締め付ける。

- ホース継手内にパッキンが入っていることを確認してください。  
※入っていないと漏水の原因となります。
- カブラー式ノケットに工具をかけないでください。  
※破損の原因となります。

手締め後、プライヤーで半回転  
～3/4回転増し締めする。  
**(参考トルク：2～3N・m)**  
※強く締付けすぎると樹脂部品が破損す  
る恐れがあります。

- ハンドル固定ねじを紛失しないように注意してください。  
※レバー・ハンドルが固定できず、破損の原因となります。
- インパクトドライバーは使用しないでください。  
※破損の原因となります。

**確 認**

レバー・ハンドルを操作し、確実に取り付いていること。

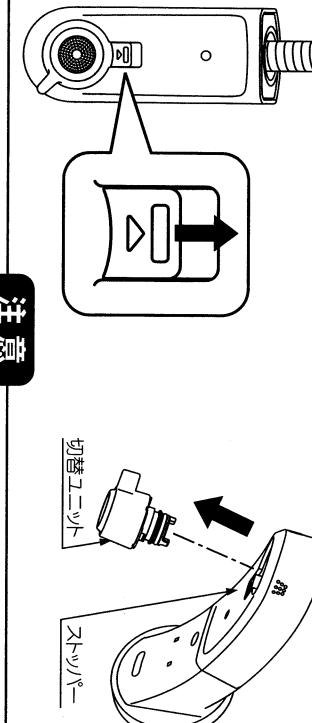
- レバー・ハンドルを操作し、確実に取り付いていること。
- インパクトドライバーは使用しないでください。  
※破損の原因となります。



### 3. ストレーナーの掃除

初期通水後のゴミを取り除くために、切替ユニットのストレーナーの掃除を、以下の要領で行ってください。

- ハンドシャワーの裏側にあるストッパーの穴に、指もしくはドライバーを入れてストッパーをスライドした後、切替ユニットをまっすぐ下に引っ張り外す。

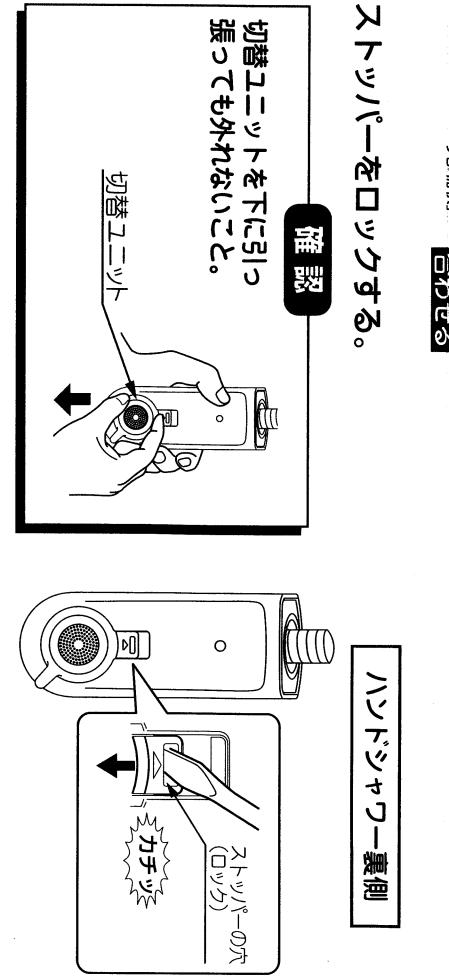


- ドライバーを使用する際はハンドシャワーにキズがつかないよう、必ず布を当ててください。  
※ハンドシャワーにキズがつき、ケガをする恐れがあります。
- 切替ユニットは回転させず、引き抜いて外してください。  
※無理に回転させると、切替ユニットが破損する恐れがあります。

### 2. 切替ユニットのストレーナーの掃除をする。



### 3. 切替ユニットの向きに注意しながら組み付け、切替ユニットをしっかりと押し込む。



### 4. 流量の調節

レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の流量が約8L/minを超える場合は、止水栓で流量を調節をしてください。

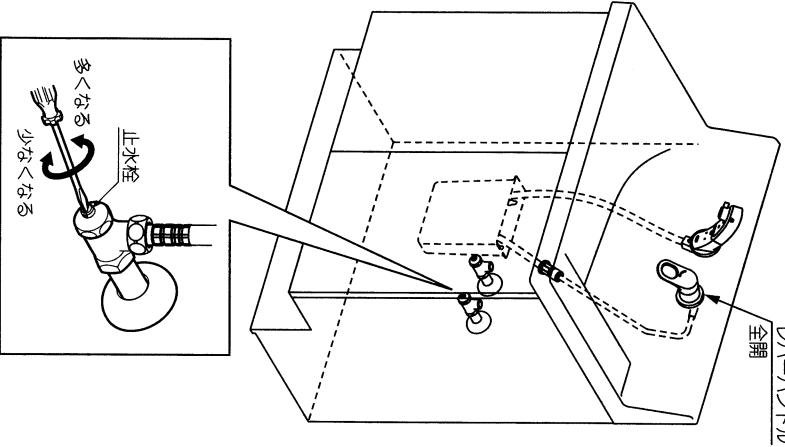
#### 4.1 ハンドシャワー裏側

- 必ず流量調節をしてください。  
※水はねやオーバーフローにより家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

- 水側・湯側それぞれでの確認後、レバーハンドルが、斜め下の位置でも吐出し、水はねやオーバーフローが問題ないこと。

#### 4.2 ポイント

- 8L/minの目安は、市販の洗面器(容量3L)をいっぱいにするのに約25秒。湯との流量が同じくらいになるように、止水栓で調節する。



### 4. 引渡し前の確認

お客様に引き渡す前に、以下のような現象がないか確認してください。  
※点検箇所は、下図を参照して下さい。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か?	—	「本製品の仕様と使用条件」の項参照。
止水栓が十分開いているか?	配管途中に大きな抵抗はないか?	—	抵抗となる障害物を取り除く。
水が止まらない	ストレーナーにゴミ詰まりはないか?	①	ゴミ等を水で洗い流す。
止まらない	ゴミ詰まりはないか?	②	ゴミ等を水で洗い流す。
止まらない	キズはないか?	③	固定ナットで締める。
止まらない	ゆるみはないか?	④	ハンドルキャップを確認する。工コハンドルはレバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。(施工完了図参照)
右側に回らない	ハンドルの操作位置は正しいか?	④	ハンドルキャップを確認する。工コハンドルはレバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。(施工完了図参照)
右側に回らない	ハンドルの操作位置は正しいか?	④	ハンドルキャップを確認する。工コハンドルはレバー操作範囲が従来のシングルレバーと異なります。(施工完了図参照)
温度が得られない	圧力は十分か?	—	「本製品の仕様と使用条件」の項参照。
温度が得られない	ストレーナーにゴミ詰まりはないか?	①	「流量の調節」の項参照。
逆流がある	ストレーナーにゴミ詰まりはないか?	⑤	ゴミ等を水で洗い流す。
逆流がある	(ゴミ、砂かみはないか?)	⑥	ゴミ等を水で洗い流す。
レバーハンドルがガタつく	(リングにキズはないか?)	⑥	キズがあれば部品を交換する。
吐水口がガタつく	ゆるみはないか?	⑦	ハンドル固定ねじをしっかりと締める。
吐水口がガタつく	ゆるみはないか?	⑦	吐水口固定ねじをしっかりと締める。

#### 故障ではありません

- この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しています。レバーが、故障ではありません。
- 水を止めた後に少しの間水が垂れます。が、切替ユニット内部に溜まった少量の水が排出されるため、故障ではありません。

#### ポイント

